

1 取り組み方針

ドコモ R&D の挑戦 ～ No WOW, No LIFE ～

株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）は日本社会が抱える課題に対して積極的に取り組んでいる。2023 年度 R&D 中期戦略において、新たな R&D ビジョンを示し、その実現に向けた6つの戦略テーマを掲げている。この記事では、ドコモの R&D が、デジタル化の進行や格差拡大、高齢化・人口減少拡大といった将来像に対してどのような志を持って、いかに貢献するのかを紹介する。

日本社会が抱える課題

日本社会は、さまざまな課題に直面している。一つはデジタル化の進行による格差拡大である。また、高齢化・人口減少も大きな課題となっている。さらには、環境問題や地域の活性化のためにも社会全体で取り組むべき課題がある。

ドコモは、これらの課題に立ち向かうため、新たな技術とイノベーションを生み出し、社会の持続可能な発展に貢献し続ける。

10年後の将来像

10年後、デジタル化の進行により、私たちの生活は驚くほど変わっているだろう。人々はスマートホームや IoT デバイスを活用し、日常生活のあらゆる側面を自動化し、効率化することができるようになる。また、人々は高度なテクノロジーにより、遠隔医療や遠隔教育を受けることが可能になる。

しかし、一方でデジタル格差も広がるだろう。新たなテクノロジーに馴染みのない人々や、地域格差によりアクセス困難な地域では、デジタ

ルの恩恵を享受することができない可能性がある。これにより、情報や機会の格差が広がり、社会的な不平等感が生まれることが懸念される。

さらに、高齢化・人口減少も進行し続ける。高齢者の割合が増えることで、介護や健康管理に対する需要が急増し、医療・介護資源への負担が大きくなるだろう。また、若年労働人口の減少により、経済の活力や生産性の低下が懸念される。

こうした将来像に直面するなかで、ドコモは、先進技術とイノベーションを通じて社会課題の解決と未来の創造に取り組んでいる。私たちは、デジタルの包摂性を追求し、デジタル格差を縮小するための取り組みを進める。また、高齢者や介護が必要な人々向けのサービスやテクノロジーを開発し、生活の質を向上させる支援を提供する。

10年後の将来像に向けて、ドコモの取り組みが、デジタル化の進行や社会変化に対応し、より包括的で平等な社会を実現する一助となることを確信している。

新 R&D ビジョン

ドコモ R&D は、持続可能な社会



株式会社 NTT ドコモ
常務執行役員 (CTO)

R&D イノベーション本部長 佐藤 隆明 氏

の実現に向け、新たなビジョンを掲げて世の中に貢献していく。私たちは、テクノロジーの力を最大限に活用し、以下の取り組みを展開する。

まず、デジタル格差の解消に取り組む。包摂的な社会を実現するために、新たなテクノロジーとソリューションを開発し、デジタルリテラシーの向上やアクセス環境の整備に注力する。特に、地域や世代を超えた情報共有を促進するプラットフォームの開発に取り組み、誰もがテクノロジーの恩恵を享受できる社会を実現する。

次に、高齢化・人口減少に対応した解決策を提供する。高齢者の生活支援や健康管理に役立つテクノロジーを開発し、人々の生活の質を向上させる取り組みを行う。遠隔医療や AI を活用した介護支援など、テクノロジーの力を最大限に活かし、

世の中の人々が、公私ともにWell-beingな生活、またそのような社会を持続的に体感できるように、われわれが取り組むことで世の中に貢献していく

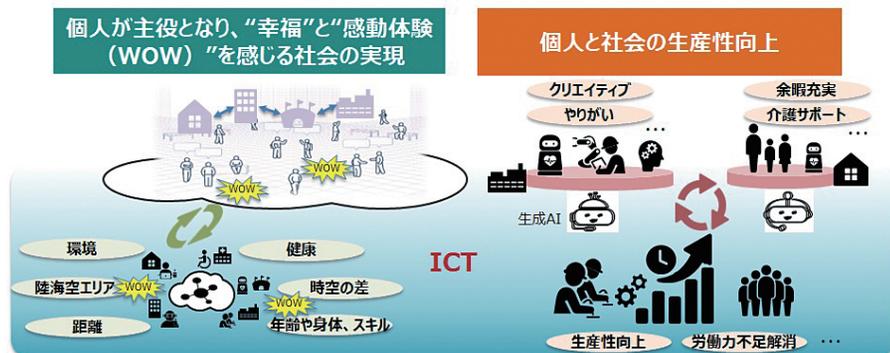


図1 新R&Dビジョン

高齢者の健康と自立を支える。

また、環境問題や地域の活性化に貢献する。エネルギー効率の向上やクリーンなエネルギーの利用を推進するための技術やサービスを開発し、さらに、地域資源を活用した地域振興や地域コミュニティの発展を支援することで、地域経済の発展と持続可能な社会の実現に寄与する。

具体的には、6つの戦略テーマを掲げ、これらの分野とそれを下支える5G Evolution & 6Gの研究開発を進めていく。これらのテーマをもとに、ドコモは社会に新しい価値を提供し、持続可能な未来を築くために全力を尽くす。私たちの研究開発の成果が、社会全体の発展と人々の幸福につながることを期待している。

6つの戦略テーマ

ドコモ R&D では、新 R&D ビジョン実行のため、以下の6つの戦略テーマに向けた取り組みを進めている。

1. サイバー空間の

コミュニケーション文化の創造

本テーマでは、サイバーとリアルを連携させ、空間・人口・時間の制

約を超えて、世界を拡張することをめざす。ヒトの能力や関係性をアップデートし、制約を超えた驚き、共感、創造といった新たな体験と価値を提供、個々人が主役となる新たなコミュニケーション文化を創造する。

2. 本人性、コンテンツの信頼性を実現

本テーマでは、フェイク動画・画像や音声によるなりすましや詐欺、フェイクニュースが急増するなか、発信者や流通するデータの信頼性を確認・担保することで、高度化した偽情報や偽コンテンツによるデジタル空間の脅威を取り除き、安心・安全な情報流通社会の実現をめざす。

3. 身体・感覚・感情などを伝達する 新たなコミュニケーションの実現

本テーマにおいては、さまざまな制約や格差を解消し、幸福な世界を実現する。サイバーとリアルをつなぎ、感情・思考・五感を通じたコミュニケーションを実現することで、コミュニケーションの垣根を取り払い、人々が互いに理解し合う社会を創り上げるプラットフォームを構築することをめざす。

4. 社会インフラを支える

コンピューティング・省エネ

本テーマでは、少子高齢化や地球温暖化などの課題に対し、Web3 や AI・ロボット技術などを活用することで解決をめざす。ドコモはこれらの技術と独自のデータとを組み合わせ、安心・安全な社会の実現に貢献する。

5. 健康管理などの

ライフイベントサポート

AI・ロボット技術などを介護サービスや健康管理に活用し、人々のライフイベントに寄り添うサポートを行うことにも取り組んでいく。少子高齢化や生活習慣病の増大などの社会課題に対処し、誰もがより長く健康に活躍できる社会の実現をめざす。

6. AI・ロボットによる生産性向上

本テーマは、AI・ロボット技術と通信技術(6G)により、社会課題解決と生産性向上を実現し、制約から解放された豊かな未来社会を作ることをめざすものである。高齢化と人口減少が進む日本では、テクノロジーが社会を支える時代になる。農業や公共サービスなど、生産性を向上させるために AI・ロボットを活用する。

以上の6つの戦略テーマを推進するとともに、ネットワークの進化を実現することで、新 R&D ビジョンの実現に向けた道筋を描き、ドコモの技術力とイノベーションへの取り組みをさらに強化していく。

本稿では、ドコモ R&D の取り組み概要について説明をした。以降の記事では6つの戦略テーマと5G Evolution & 6Gの取り組みについて紹介する。